

観光資源・教育のための 筑波山周辺の気候の実態調査



代表: 加藤 隆之

(生命環境科学研究科博士後期課程3年)

はじめに

筑波山では、古くから斜面温暖帯等をはじめ、数多くの大気現象が存在している。このような現象は、観光資源として十分な魅力を持ち、また自然の教科書としても活用可能であると考えられる。しかしながら、地域社会への普及・啓蒙活動はあまり多くない。本課題では、筑波山における集中観測等による気候の実態調査や解析のためのコンピュータによるシミュレーションを実施する。それらの成果を冊子として刊行することで、地域向けの気象教育を行うだけでなく、筑波山のPR活動にも貢献するものと考えられる。

②一般向け向け冊子の作成と配布

●筑波山の実態調査の成果を一般向けの冊子「知ってる筑波山? ~身近な気象を知ろう~」というタイトルで刊行(1000部印刷:12ページ)



①筑波山における気候の実態調査

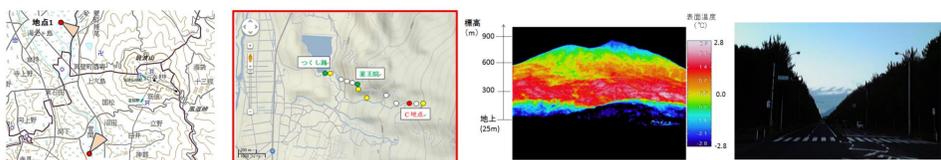


図1: 筑波山周辺でのサーモカメラ等の気象観測機器を使用した観測を実施。(斜面温暖帯等の観測に成功)

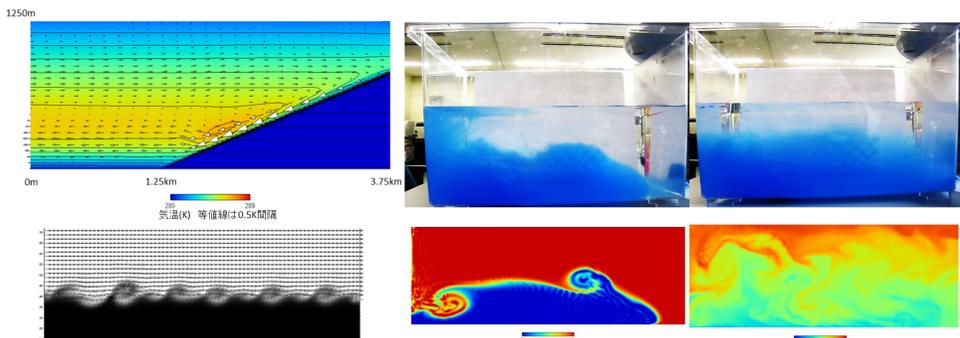


図2: 現象理解のための数値シミュレーション等を行い、一般向けの冊子での解説に必要な各種、実験を実施。

現在、本冊子は下記の場所等に配布している。

- ・筑波山神社
- ・薬王院
- ・筑波山観光鉄道株式会社
- ・つくば市観光物産課
- ・TXつくば駅(総合案内所)
- ・筑波大学計算科学研究センター



●その他

- ・神奈川県立柏陽高校の筑波山サマースクール(2014年7月25日予定)において、現地にて本冊子を使用した解説や筑波山測候所の見学会を実施予定

③一般向け筑波山測候所リアルタイムデータHPの公開と普及

10分間隔で測候所より送信される気象観測データのリアルタイムアーカイブシステム及び、一般向け公開HPを構築し、筑波山の観光客やパラグライダーの方等にいつでもリアルタイムデータが閲覧できるような環境を整備した(注)

→認知度をより高めるため、筑波大学計算科学研究センターの広報等と協力した上で、気象教育向け冊子の配布と同時に宣伝・普及活動を実施。

注: システム開発については「筑波山プロジェクト」により実施された。

謝辞: 筑波山における野外観測及び数値シミュレーションの研究を行うにあたり、先端学際計算科学の開拓・推進・展開事業 - 計算科学による先導的知の創出 - (筑波山プロジェクト)の支援を受けました。

筑波山のリアルタイム気象観測データ

筑波山測候所のリアルタイム気象観測データ(10分値)のグラフです。現在値は★で示してあります。グラフは左上から順に、気温(Temperature)、風速(Wind speed)、風向(Wind direction)、湿度(Humidity)、気圧(Air Pressure)、10分間降水量(Precipitation)を示しています。

本観測データに関するお問い合わせは下記にお願いたします。
筑波大学計算科学研究センター 日下研究室
加藤隆之(Kato Takayuki) E-mailアドレス: mt.tsukuba.project@gmail.com

